



KEIJI KAWAMURA

*Twelve Angry Men / Written by Reginald Rose • Directed by Eiji Nishizawa • Produced by 52pro*

十二怒男



スラム街に暮らす少年が父親を殺した容疑で起訴された。

夏の暑い日、見知らぬ十二人の男たちが陪審員室に集まり審議に入る。

判決は全員一致でなければならない。

誰もが有罪を確信する中、一人の陪審員が「話し合いたい」と異議を唱える。

彼は粘り強く語りかけ、少年に不利な証拠や証言の疑わしい点を

一つ一つ再検証するよう集団心理を導いていく。

息詰まる展開で浮き彫りにされるのは、人間の様々な偏見や矛盾、無関心、先入観……。

そして、有罪を信じていた陪審員たちの心は、徐々に変化していく。

